

建労新聞

田川建設労働組合



HP: <https://www.tagawa-kenrou.or.jp>
E-mail: tagawa-kenrou@tagawa-kenrou.or.jp

HP



E-mail

赤ちゃん誕生 おめでとうございます



第13回

余目支部
武田 和雅さん

悠結 彩雅さん
鈴聖くん
(令和6年1月6日生)

今回紹介させて頂くのは、武田和雅さん(余目・大工)の御家族です。和雅さんは山形工科短期大学で修学され、現在は親子二代、現場で汗を流す日々を過ごしております。

お二人の出会いは、五年前、友人の紹介で知り合い、一年余りの交際を経て結婚しました。そして今年二月に二人目の悠聖君が誕生しました。健やかな成長をお祈りいたします。

取材協力、ありがとうございました。

(記・教宣部 佐藤 勝弘)



発刊に寄せて

執行委員長

和田吉和

組合員の皆様、御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より組合活動、建設国保の諸運動に多大なる御理解と御協力を賜っております事に御礼を申し上げます。

本年一月一日に発生した能登半島地震では、多くの住宅が倒

壊などの被害を受け、今なお多くの方々が避難生活を余儀なくされております。被災されました皆様には、お見舞申し上げますと共に、一日も早い復興を願うばかりです。全建総連では、支援金の目標額を一人当たり七十円とし、合計で三千五百万円に設定しました。県連では各組合、組合員に対し支援カンパの要請は行わず、一月十一日付けで県連会計(予備費)より五十四万九千六百四十円を送金しました。又、応急仮設木造住宅建設では、県連で二十六名の協力を得ることができ、内五名の方は田川建労からの大工職人です。インフラも追い付かず、移動時間に二時間三十分、仮設のお風呂、車中泊など、過酷な状況の中でご尽力なされている組合員の皆様には敬意を表します。

日本海側に住み、令和元年の山形県沖地震を経験している我々にとっても、他人事ではなく、常に地震に対する備えが必要と再認識させられました。鶴岡市の住宅の耐震化率は令和五年十二月末で八一・四七%となつておる、鶴岡市建築物耐震改修促進計画では、令和十二年度までに住宅の耐震化率を九十%とする目標を掲げています。又、市と県で協調補助を行つて、住宅リフォーム支援事業では、従来の耐震改修に加え、減災対策の強化として、防災ベッドの設置や耐震シェルターの設置等に対し、補助割合八〇%、上限三十万円の支援を行っています。是非、ご利用ください。

今年も温暖化の影響により大雨、熱波による猛暑、熱中症による体調不良などを危惧しています。組合員の皆様、ご自愛下さい。

結びに「建設業は災害対応や除雪も含めて地域の基盤を支える【守り手】だ」新4K(給料・休暇・希望・かつこいい)のもと、希望を持って頑張りましょう。

第69回

田川建設労働組合 定期大会

まだ二月だというのにすっかり春めいた陽気の二月二十日、グランドエル・サン、ローズルームを会場に第六十九回定期大会が開催されました。コロナウイルスの五類への引き下げにより、通常の生活に戻りつつ、第六十五回大会以来の通常開催となり、久振りに賑やかな開催となりました。

五十嵐大会準備委員長の進行により、物故者への黙祷の後、大会役員が選出され、資格審査委員長より代議員定数が報告され、大会成立要件が確認されました。選挙管理委員長より立候補者の受付の説明がなされ、議事日程承認後、佐藤晃副執行委員長より開会が告げられました。当日は来賓として竹谷英幸全建総連組織部長、皆川治鶴岡市長、関川俊夫山形県連委員長、中村隆幸東京土建中央執行委員長、益田修次神奈川土建中央執行委員長、今井賢治書記長、安藤美智博酒田鮑海副理事長、県議会議員四名、石井徹山形

県建築士会鶴岡田川支部長、吉田仁こくみん共済co-op鶴岡支所長の出席を賜りました。



▲質疑に立つ代議員

和田執行委員長の挨拶に続き、祝電が披露された後、来賓の皆様より祝辞を頂戴し、竹谷全建総連組織部長より本部報告がなされました。昼食休憩を挿み、議事に入りました。第一号議案経過報告、決算報告、監査報告では三件ほど質問がなされた後、承認されました。第二号議案運動方針案、収支予算案が提案され、三件の質問を受けた後、承認され、第三号議案の一時借入限度額についても承認されました。引き続き役員選挙が行

われ、八名の執行委員、三名の監査委員が選出されました。新三役には執行委員長に和田吉和氏（湯温海）、副執行委員長に佐藤力氏（櫛引）、佐藤晃氏（左官）の就任が報告されました。

大会スローガンが読み上げられた後、議長団が解任され、表彰式へと移り、令和五年度純増拡大、ハガキ要請百分達成、特定健診受診率七〇%達成、各署名要請百分達成の支部・分会が表彰されました。

又、特別表彰では伝承の丘原知事表彰を受賞された堀口吉男氏（藤島）が表彰されました。

担当は、以前の住宅対策部



▲新役員挨拶の様子

住宅・技術対策部長 奥山昌毅（余目）



就任の御挨拶

と技術対策部が統合された、住宅・技術対策部で、住宅活動は森とみどりのフェスティバルでの上棟式、技術活動は小学生に向けて工作キット作成等の様です。

微力ではございますが精一杯努力してまいりますので、何卒、皆様の御指導御鞭撻のほど賜りますようお願い申し上げます。

教宣文化部長 本間吉紀（鼠ヶ関）



先の定期大会において、執行委員に選出されました鼠ヶ関支部の本間です。

教宣部の経験も浅く、分からない点が多くありますが、部員の方にも経験者がおられますので心強く思います。こ

三唱を行い、佐藤力副執行委員長の閉会の挨拶で大会を終了しました。

最後に、全員でガンバロー

何卒、今まで以上の御指導御鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

の先も多くの会議等、今の私でこの職が務まるのか不安でいっぱいです。和田執行委員長の足手まといとならぬよう、他の執行委員の皆様の協力を得ながら、教宣文化部長の職を務めて参りたいと思つております。

第63回

県連定期大会

副執行委員長 佐藤 晃



▲大会役員席の様子

第六十三回山形県建設労働組合連合会定期大会が、四月二十三、二十四日の両日天童温泉「天童ホテル」で開催されました。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが五類に移行し、経済を始めとする様々な活動が正常化へ向けて歩み始めた今年度は、コロナ前と同様の大会開催となりました。

田川建労から県連役員として五名、代議員として十名、組合員として一名の全体として十六名で参加しました。大

会役員として、田川は議事運営委員に奥山昌毅住宅・技術対策部長、資格審査委員に佐々木博良賃金・税金対策部

員より一月一日に石川県能登地方を震源とする「令和六年能登半島地震」で被災された方々へ、お見舞と復旧・復興が一日も早く進むことへのお祈りの言葉がありました。

県連から能登半島地震への支援金として、全建総連納入人員×七十円とし、五十四万九千六百四十円を支出されました。また、来賓として全国建設労働組合総連合より小倉書記次長が来県され、能登半島地震での仮設住宅支援などについてお話をありました。

その後、議事運営委員会報告と資格審査報告があり議事に入りました。休憩後、第六十三期運動方針案・予算案の提案があり、分科会（五分科会）に移動し、各専門部の運動方針が討議されました。分科会終了後、本会議場へ移動し、運動方針案・予算案が承認さ

れました。今大会では役員改選があり、選挙管理委員長より立候補者の報告がありました。委員長は関川氏が再任されましたが、副委員長は田川の和田吉和氏以外、全員が新任となりました。中でもこれまで、書記長として十六年間勤められた、井上朋行氏（村山）が退任せられ、新書記長に三井寺浩樹氏（山形）が就任されました。

執行委員、会計監査、協議会員も多くの方々が新任となりました。新執行体制で山形県連の抱える諸課題に取り組んで頂きたいと思います。

一町一村申入れ行動

賃金・税金対策部長
佐々木 博良賃金・税金対策部長
佐々木 博良

新緑薫る五月一日、恒例の二町一村申入れ行動に三役のカバン持ち兼ドライバーとして同行しました。今年は一日日程で午前中は大蔵村、午後から庄内町、三川町の順番で当該支部長も加わり、各役場を訪問しました。各町村首長への申入れは、主に末端建設職人に対する設計労務単価順守、組合員減少の一途を辿

今回申入れ行動では真面目な話は三役が、世間話は私が担当。建設国保コンプライアンス委員会に所属する身である私は、法令遵守法定速度を守りつつ、自分自身の役割を果たし、折しも五月一日は

と思います。

日本各地で災害のたびに復興に必要な職人が足りないと叫ばれ、家屋を復旧するにも順番待ち状態だと報道されました。今、改めて国や行政には私達建設職人の必要性、重要性に目を向けて頂きたい

いました。日本各地で災害のたびに復興に必要な職人が足りないと叫ばれ、家屋を復旧するにも順番待ち状態だと報道されていました。今、改めて国や行政には私達建設職人の必要性、重要性に目を向けて頂きたい



▲大蔵村にて

齋藤元執行委員長が逝去

元執行委員長の齋藤眞佐記さんが、四月十二日逝去されました。昭和五十三年本部委員に就任後、五十五年から執行委員、平成八年からは執行委員長・県連合会委員長・建設国保組合理事長を二期四年務め重責を担われました。ここに生前の御尽力に感謝の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。



父の命日、褒めて貰えそうな気がする。結びに、この度の行動の準備をしてくれた事務局、各首長はじめ関係各位の皆様に深く感謝申し上げます。



▲プレーを楽しむ参加者

スープーパーレーやホールコンワンが出るたびにあちらこちらで歓声が上がっています。また、プレー中における交流や触れ合いを今後とも大切にしたいと思いました。皆さんファブリーやグッドマナーを心掛け、楽しく気持ちの良い汗を流したのではないでしょうか。来年も大勢の参加、よろしくお願ひ致します。

毎年恒例の田川建労グラウンドゴルフ大会が、五月晴れの中、八十五名の参加を頂き、五月二十六日(日)に開催されました。コロナウイルスも一段落して、ほとんどの皆さんがマスクなしでプレーをしていました。

第28回

グラウンドゴルフ大会

県連専門部会 住宅対策部

副執行委員長
佐藤力



▲表彰式の様子

第二十八回グラウンドゴルフ大会の結果は次の通りです。

三位	二位	一位
斎藤	石塚	鈴木
英夫	薰 (立川)	誠次 (三川)
四十打	三十八打	三十七打

*女子の部
一位 佐

一位 佐藤ふじ子（立川）
二位 伊藤 純子（山戸） 四十七打
三位 村井 文子（立川） 五十一打

一位 佐藤ふじ子（立川）
二位 伊藤 純子（山戸） 四十七打
三位 村井 文子（立川） 五十一打
五十三打

一位	佐藤ふじ子（立川）
二位	伊藤 純子（山戸）
三位	村井 文子（立川）
五十三打	五十一打

一位 佐藤ふじ子（立川） 四十七打
二位 伊藤 純子（山戸） 五十一打
三位 村井 文子（立川） 五十三打
ベストプレーヤーの皆さん、おめでとうございました。
最後に大会運営の皆さん、
参加者の皆さんお疲れ様でした。

一位 佐藤ふじ子（立川） 四十七打
二位 伊藤 純子（山戸） 五十一打
三位 村井 文子（立川） 五十三打
ベストプレーヤーの皆さん おめでとうございました。
最後に大会運営の皆さん、 参加者の皆さんお疲れ様でし た。

私は、県連では住宅対策部におかれていますが、田川建戸惑つてしまいますが、第三分科会の住宅対策部長は関川県連委員長、技術対策部長は和田県連副委員長が務めていたため、分科会の司会進行をお二人にお任せし、問題なく進めて頂きました。皆さん各単組の代表者なので、大変勉強されていて時間が足りなくなるほど沢山の意見がでまし

四月二十三日・二十四日に県連の定期大会が行われました。二十三日の午後から各部会に分かれて専門部会が行われ、今回は第一分科会に社保・労働、第二分科会に賃金・税金、第三分科会に住宅・技術、第四分科会に組織・教宣第五分科会に共済・財政の五つの分科会に分かれて行つれ

その中で、各職業訓練校に対する県連の補助金の増額を求める声が上がりました。司会進行を行っているのが県連の委員長と副委員長なので、とてもインパクトのある意見でした。その場で二人共増額の意思決定はしませんでしたが改善されると思われました。

編集談話室

マイナスの影響を受ける一方で、円安を理由に日本を訪れる外国人の方は増えています。ゴールデンウイーク期間中、庄内の観光地でも訪日外国人の姿を多く見かけました。

は、日本国内の建設投資の増加につながり、ひいては建設業界の成長機会になると捉えられます。円安という逆境も、見方を変えればチャンスとなるのかもしれません。苦しい逆境を成長のチャンスにするべく、身の回りで出来ることからコツコツと日々の仕事に取り組んでいきましょう。

た。
一通り自己紹介が終わつた
ところで、各単組における問
題を住宅・技術の分科会の内
容とは別に提案を求めました。

どうか。急速な円安による建設業界の負担を減らすような制度を整備する必要があると考えます。円安で建設業界が

最後に、とても勉強になる
良い分科会でした。



▲分科会の様子

(記・教宣部
本間
吉紀)